



【今月の一言】 会長 松田 学

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
4月に耐摩耗鋼板(HARDOX)の最終テスト曲げを行いました。曲げた時のスプリングバック、伸び代、割れリスク等を調べました。長尺を曲げた時のたわみ具合も検査しました。最終テストの結果で問題なしと判断致しましたので、5月から本格的に耐摩耗鋼板の折曲げ加工の営業を始めてまいります。
加工範囲は、板厚t3.2~t12、L寸法最長6100mmになります。
耐摩耗鋼は、一般的な鋼材と比べ構造物の重量を軽くし、耐用年数を伸ばします。用途として、ダンプボディ、堀削機のバケット、コンテナなどに使われています。
これからますます需要は高まり、用途も広がっていくと思います。まだスタートしたばかりですが、これから着実に実績を積み上げてまいりますので、よろしくお願いいたします。

～図面勉強会～

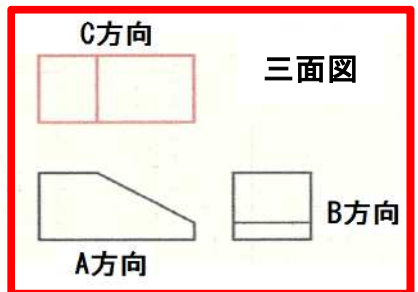
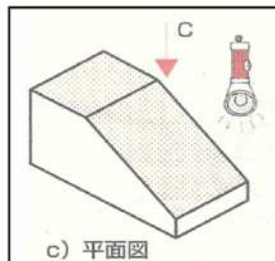
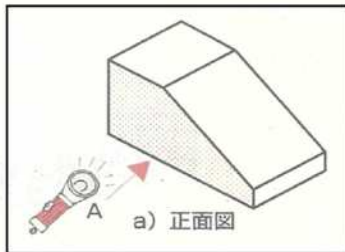


新入社員を中心に、図面の勉強会を開きました。

覚えること多い...！
頑張ろう！



ある立体物を、3方向それぞれから見た様子を、右下の図のように表した図を三面図といいます。弊社の営業担当者から、曲げ等の確認の際に図面を送らせて頂く時に、よく使用しているのが三面図です。是非注目してみてください。



加工事例: SM490A 異型厚物曲げ



SM490Aで特殊な形状の厚物曲げを受注しました。



全部で50個！！
曲げ精度がいいと重ねた時にスキマなくピッタリ重なって気持ちいいです。



今月の川柳(「今月の一言」連動型)

高負荷に
耐える素材の
ご提案
by キーオ

～今月の朝礼～



箱根旅行に行ってきました。荒涼とした大自然の中での温泉は最高の気分でした！

